

2011年度 神奈川県女子トレセンU-12について

社団法人 神奈川県サッカー協会
女子委員会 U-12部会

1. 県女子トレセンU-12の基本指針

成長期にある子どもたちへの指導で最も重要なことは、一人一人の選手に目を向け、その子たちが「完成期（20歳前後）においていかに大きく成長するか」を第一の目的にすることである。ジュニア年代（ゴールデンエイジ）は、神経系の発達がほぼ完成に近づき、一生に一度だけ訪れる「即座の習得（あらゆる物事を短時間で覚える）」を備えた特異な時期である。動作習得にとって最も有利なこの時期に、クリエイティブな選手になるために必要な要素を習慣づけておくことが大切である。このことが、将来大きく成長するための重要な鍵となる。

県女子トレセンU-12活動は、選手の発達段階をふまえ、県内女子U-12チーム選手の技術強化を目的とし、個人技のレベルアップ及びゲームの判断力の向上をはかることにより、選手個々がよりクリエイティブな選手へと育っていく手助けをする事を指導の重点とする。

さらに、同年齢の選手同士が切磋琢磨することにより、技術の向上と共に、サッカーに取り組む自主性・積極性の向上も期待できる。

トレセン活動の目的

神奈川県女子サッカーの底辺拡大、競技人口の増加/少女サッカーの普及・発展、各選手の技術向上・強化/
各チームのチーム力向上/選手個々の人格形成の援助、少女サッカーの指導者層の拡大と育成

2. 県女子トレセンU-12の指導体制

- ・女子委員会U-12部会役員及び女子委員会技術部会役員がこれにあたる
- ・指導内容は、基本として日本サッカー協会作成の「指導教程」に基づくものとする。
- ・指導内容は、各年代のトレセン指導者と連携をとりながら、長期的視野に立った指導を実践する。
- ・選手の選考は、トレセン指導者が中心となり女子U-12部会がこれにあたる。

<<指導スタッフ>>

吉村 望 (FCすすき野レディース)	翠 茂樹 (横浜翠陵中学校・高等学校)
鈴木 康則 (HFCレディース)	石野 光人 (FC厚木ガールズ)
鈴木 則行 (西鶴間SCレディース)	金子 守 (横浜ウインズ)
篠原 靖 (駒寄滝の沢ガールズ)	大谷 幸男 (FC Viso)
小林 洋一 (鶴巻ベリーズ)	一反田 大輔 (あざみ野キティーズ)
小川 文彦 (FCラディッシュ南が丘)	越中谷 庸三(しゅうSC)
栄村 忠雄 (都筑FCバンビーズ/ムース)	

3. 県少女トレセンの運営体制

- ・保護者の協力体制

保護者の互選により、マネージャー・サブマネージャーを選び、出欠の確認、緊急時の連絡等、庶務的事項について指導者を補佐する。

- ・活動計画

練習会・大会参加等のトレセン活動については、日時・会場を記載した活動計画に基づき、Mail により所属チーム代表者及びトレセン選手（保護者）に詳細を通知する。

- ・ユニフォーム

大会参加時には、県女子トレセンU-12チームの正副ユニフォーム（上衣・パンツ）を貸与する。尚、ストッキングについては個人購入とする。

- ・大会参加

関東トレセンリーグは、参加時点でのベストのメンバーを選抜しチーム編成を行い参加する。但し、大阪（ヤングユース）、東京（首都圏交流）、埼玉（関東東北交流）、神戸（ニューヤ）に及び神奈川県選抜招待大会、県U-15リーグについては、別途検討する。

- ・補助役員

宿泊を伴う大会参加時には補助役員（保護者）を帯同し、選手の掌握（更衣・入浴・食事・就寝・健康管理、試合時の給水飲料手配等）について指導者を補佐する。

- ・指導者・補助役員の費用

大会参加に関する指導者及び補助役員の費用実費は参加選手が分担して負担する。

- ・選手の費用負担

選手は前期¥3000、後期¥4000の活動費を負担する。

また、練習会・大会参加等の活動に要する遠征費・交通費用等実費を負担する。